

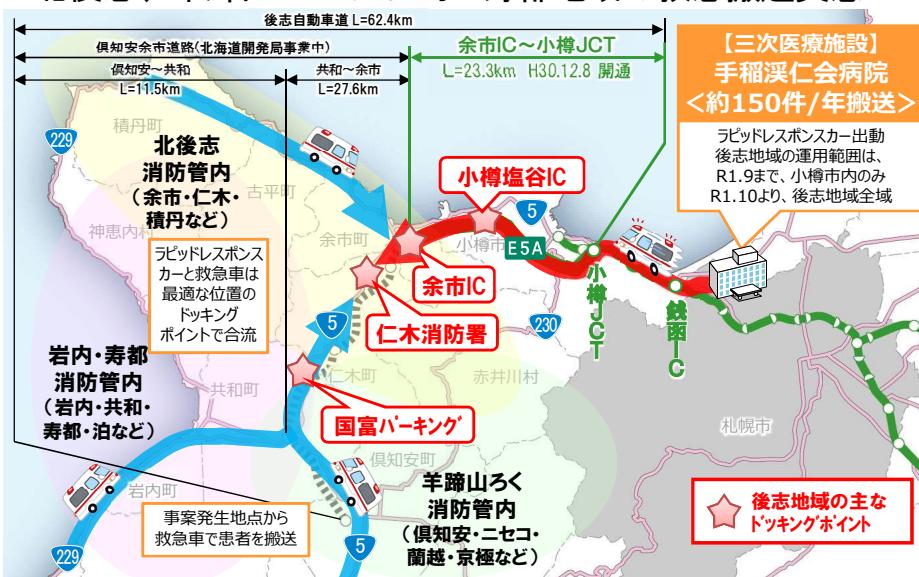
## 高次医療施設への救急搬送の迅速性向上に寄与

羊蹄山ろく地域等から札幌市への救急搬送時間が約18分短縮！

ラピッドレスポンスカー※の運用範囲が後志地域の全域に拡大！

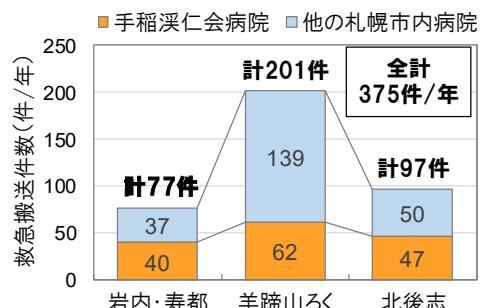
初期医療の開始時間がさらに約44分短縮し、救命率が大きく向上！

### 北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都地域の救急搬送実態

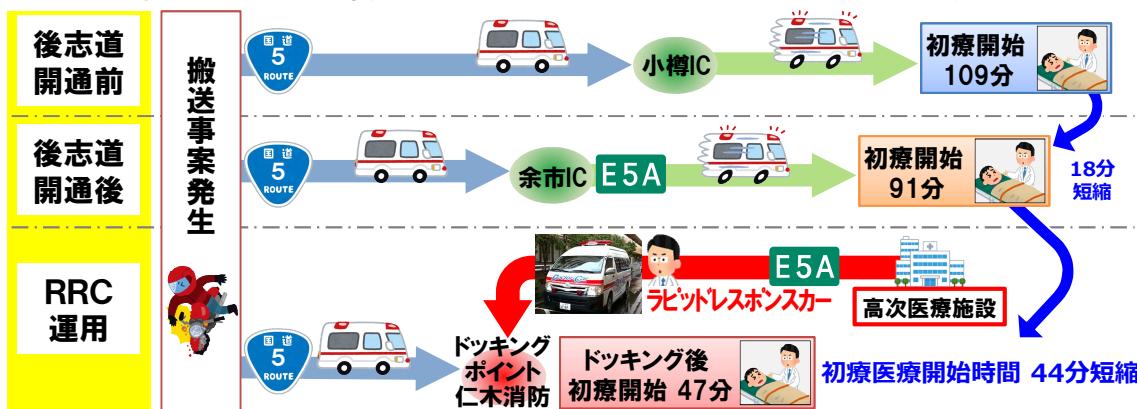


### 札幌市への救急搬送件数

北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都の各消防本部の管内から札幌市内病院への管外搬送を年間375件（1日1件以上）実施うち、約150件は手稻渓仁会病院への搬送



### 後志道開通後の救急搬送・ラピッドレスポンスカー(RRC)運用による救命率向上



※ラピッドレスポンスカー(RRC)：医師が救急現場等に向かうための緊急自動車。救急現場またはドッキングポイント（救急現場からは救急車が患者を搬送）で救急車と合流し、医師が救急車に乗り込み、車内で迅速な救命処置を実施。RRCでは患者を搬送しない。

### 消防組合の声

余市から手稻渓仁会病院への転院搬送では、必ず後志道を利用しています。片道約20分の時間短縮は非常に大きく、効果を感じています。

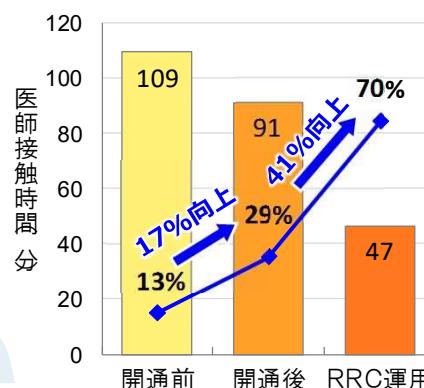


### 救急病院の声

後志道の開通を契機に、ラピッドレスポンスカーの運用範囲が後志地域の全域に拡大しました。雪が降ってドクターヘリが飛べない時などに活躍します。この冬も俱知安町などに出動しています。



出典：ヒアリング調査  
(令和元年11月、令和2年2月実施)



出典：ヒアリング調査  
(令和元年5月実施)

資料：  
医師接觸時間算出：  
ETC2.0プローブデータ 12h平均旅行速度  
(開通前：H30.4～9、開通後：H31.4～R1.9)  
搬送元地点：俱知安町役場  
搬送先地点：  
後志道開通前および開通後：札幌手稻渓仁会病院  
RRC運用：仁木消防署（ドッキングポイント）  
救命率：「道路整備による救急医療改善効果」  
(交通工学Vol.45 No.5 2010)  
※重症度が中等症の急性心筋梗塞を対象